

【基本目標8】 まちの賑わいを創出する

(1) 活力あるまちづくり

優れた景観、歴史、文化を持つ県内各地域において、まちとしての魅力の向上や地域間交流の促進による活性化を図るため、地域の特性に応じたきめ細かなまちづくりを進める。

【主要事業の概要およびKPI】

基本目標 8-(1)① 都市機能を高める“ひょうご都市ブランド”づくりの推進

(上段：目標、下段：実績)

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
住んでいる都市が快適で魅力的だと思う人の割合		53%	54%	56%	58%	60%を上回る
	53.2%(H27年)	53.2%				
達成率・評価		100.4%				
		A				

【目標設定の考え方】 5年間で「快適で魅力的だと思う人」の割合約10%増を目指し、H28年度目標を54%に設定

1 市街地整備事業・土地区画整理事業等の推進（まちづくり）2,099,789千円

既成市街地において土地の高度利用と都市機能の更新を図る市街地再開発事業や、都市における防災性の向上、生活環境の改善及び良好な宅地の供給を図る土地区画整理事業などを推進

- 事業主体 市町、組合等
- 整備対象 公共施設、施設建築物 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市街地整備事業新規実施地区数(累計)		3地区	6地区	7地区	8地区	10地区
	0地区(H26)	3地区				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】 実績を踏まえ、市街地整備事業の新規実施地区10地区を目指し、H28年度目標を6地区に設定

2 (新)三宮駅周辺の再整備の推進（まちづくり）

民間開発を促進し、三宮を交通、商業・業務等の中枢機能をもつ兵庫の玄関口にふさわしい国際競争力のある魅力的な街とするため、神戸市と連携しながら特定都市再生緊急整備地域の指定等の取組を実施（事業計画決定後、目標設定）

3 商店街の活性化及びまちの再整備

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
まちなか再生計画策定件数(累計)		—	2件	3件	4件	5件
	—	—				
達成率・評価		—				
		—				

【目標設定の考え方】 H27年度から計画策定に取り組み、H31年度までに累計5件の計画策定を目指す
H28年度目標を2件に設定

(1) まちなか再生協議会等の運営支援（まちづくり）10,500千円

「商店街の活性化」と「まちの再整備」を総合的に推進するため、協議会の立ち上げや「まちなか再生計画」策定を支援

○事業内容

- ・ 専門アドバイザー派遣
- ・ 協議会等の運営支援

○対象者 まちなか再生協議会 等

(2) 小規模再開発の支援（まちづくり）15,550千円

既存商店街の活性化のため、まちなか再生計画の区域内で国庫補助を受けて実施される共同住宅や賑わい再生につながる施設の導入を支援

○事業主体 まちなか再生協議会等

○補助対象 敷地の共同化等による住宅や多用途施設(医療、福祉、商業等)の整備費(調査設計計画費、土地整備費、共同施設整備費)

(3) 商店街シンボル建築物の再生支援事業（まちづくり）1,000千円

既存商店街の活性化のため、まちなか再生計画に位置付けられた商店街の歴史を物語るレトロな建築物を改修し、賑わいの交流の拠点として再生する取組を支援

○事業主体 復興建築物、旧銀行、旧酒蔵等の建築物を商業以外の施設として利活用する者

○要件 概ね築50年以上の近代建築物又は伝統的建築物

商店街の賑わいの交流拠点として、商業以外の用途で活用する建築物

○補助対象経費 設計費、内外装改修費

(4) 街角トイレ、ポケットパーク等の整備支援（まちづくり）

まちの再整備を図るため、まちなか再生計画に位置付けられた、街角トイレやポケットパーク等の整備を支援

4 公共交通バリアフリー化促進事業（まちづくり）60,019千円

公共交通のバリアフリー化を促進するため、鉄道駅舎のバリアフリー化とノンステップバスの導入を支援

○鉄道駅舎エレベーター等設置補助（35,166千円）

県の福祉のまちづくり基本方針を踏まえ、平均乗降客数が1日当たり3千人以上の駅について、バリアフリー化を実施

○ノンステップバス等購入補助（24,853千円）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (目標達成年度)
鉄道駅のバリアフリー化率※1 (1日の平均乗降客数3千人以上5千人未満駅)	55.8% (H25)	70%	74%	81%	87%	93%	100%
達成率・評価		100.0% A					
乗合バスに対するノンステップバス導入率※2	56.6% (H25)	60%	62%	64%	66%	68%	70%
達成率・評価		96.7% B					

【目標設定の考え方】※1：H32年度末100%達成に向けて、毎年度6%程度の改善が図られていくよう目標を設定
 ※2：H32年度末70%達成に向けて、毎年度2%程度の改善が図られていくよう目標を設定

5 (新)ひょうご自転車まちづくりの推進 (まちづくり) 3,663 千円

自転車を活用したまちづくりを推進するモデル地区の選定に向けて、詳細調査を行うとともに、モデル地区における各種施策等を進めるための実施計画を策定

○モデル地区実施計画の策定

- ・モデル地区候補地詳細調査
- ・実施計画の策定

○第2回ひょうご自転車まちづくりシンポジウム

モデル地区において行政関係者、県民等を対象としたシンポジウムを開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
モデル地区	-	-	1 地区	-	-	-
達成率・評価	-	-	-	-	-	-

【目標設定の考え方】 事業推進に向け、H28年度にモデル地区1地区指定を設定

基本目標 8-(1)② ニュータウンの再生

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
郊外型住宅団地の再生 に向けた協議会が設立 された団地数 (累計)	5 団地 (H26 年度)	7 団地	9 団地	11 団地	13 団地	15 団地
達成率・評価	-	71.4% C	-	-	-	-

【目標設定の考え方】 ニュータウンの再生に必要な協議会が毎年度2団地設立されることを目指し、H28年度目標を9団地に設定

【KPI 未達成の理由等】 再生協議会設立に向けて支援を実施したが、各団地とも熟度が上がらず新たな協議会の設立はなかった。今後とも H28.4 に策定した「兵庫県ニュータウン再生ガイドライン」を活用し、地域や市町が実施する再生に向けた取組に対し支援を行う

1 (拡)郊外型住宅団地再生先導的支援事業 (まちづくり) 27,592 千円

ニュータウンの再生を目指し、再生に向けた取組を普及・啓発するとともに、地域や市町が実施する取組に対して支援

[対象地域: 政令市及び中核市を除く区域で、人口減少や高齢化が進展しているオールドニュータウンを原則とする]

○普及啓発及び再生計画策定等への支援 (6,472 千円)

- ・「兵庫県ニュータウン再生ガイドライン」の普及啓発
- ・コーディネーター派遣事業 派遣人数 2人/地区
- ・再生計画策定等支援事業

○(新) 転入者住宅改修工事利子補給事業(2,600 千円)

- ・対象者 団地内の既存住宅を取得し転入する者
- ・対象工事 耐震性がある住宅において実施する改修工事

○(新) 子育て世帯向け賃貸住宅供給支援事業 (9,020 千円)

- ・対象者 事業者等
- ・対象経費 改修費及び買取費

- (新) 高齢者住み替え支援事業 (9,000 千円)
 - ・対象者 自宅を賃貸する高齢者
 - ・対象経費 改修費及び買取費 (概ね 100 m²以上の一戸建て住宅に限る)
- (新) 域学連携促進事業(500 千円)
 - ・対象者 地域活動を実施する大学及び高校等
 - ・対象経費 一定期間の地域活動に必要な経費

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
コーディネーター派遣地区数(累計)	—	2 地区 0 地区	4 地区	6 地区	8 地区	10 地区
達成率・評価		0% D				

【目標設定の考え方】 地域住民の団地再生への機運を高めるため、専門のコーディネーター派遣のH31年度実施地区10地区を目指し、H28年度目標を4地区に設定

【KPI 未達成の理由等】 制度の周知不足が原因と考えられるため、積極的なPRに努め、H28年度目標達成を目指す

2 サービス付き高齢者向け住宅の供給促進 (まちづくり)

サービス付き高齢者向け住宅の供給促進を図るため、事業者に対する国の補助制度の活用提案などの支援を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
サービス付き高齢者向け住宅登録戸数 ※1	9,580 戸(H27)	9,580 戸 10,224 戸	10,500 戸	10,800 戸	11,000 戸	—
達成率・評価		106.7% A				—
特定施設入居者生活介護指定サ高住の戸数	580 戸 (H26)	738 戸 885 戸	948 戸	1,158 戸	1,368 戸	1,578 戸
達成率・評価		119.9% A				

【目標設定の考え方】 ※1：H30年度の登録戸数11,000戸を目指し、H28年度目標を9,780戸に設定
「安全元気ふるさとひょうご実現プログラム」の更新時にH31目標設定

【目標値見直しの理由】 ※1：H27年度目標値を上回ったことから、H30年度11,000戸を目指し、H28年度以降の目標値を修正

3 (拡)オールドニュータウン再生モデル事業 (明舞団地) (まちづくり) 7,166 千円

地域住民組織による自主的運営の実現に向け、明舞団地をモデルとして進めることで、全国に先駆けた、地域主体の再生モデルの一つとして他のニュータウンへ普及

- (新)住み替え促進モデル構築支援事業 (2,392 千円)
 - ・住み替えシステム構築検討事業
 - ・エリアマネジメント立ち上げ支援事業
- 地域の魅力創出支援事業 (1,595 千円)
 - ・明舞団地魅力創出事業
 - ・学生シェアハウスの公募
 - ・明舞住民講座支援事業
- 明舞団地における再生の促進 (3,179 千円)
 - ・まちづくり委員会の運営
 - ・明舞団地再生計画改定

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
コミュニティ再生活動団体登録数 (累計)	0件(H27)	3件 3件	6件	9件	12件	15件
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】 H31年度の登録数15件に向け、H28年度目標を6件に設定

基本目標8-(1)③ 地方都市における拠点の形成

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
景観形成重要建造物など 地域資源を活用し生み出 された拠点数	20件(H22~26 年度平均)	20件 25件	20件	20件	20件	20件
達成率・評価		125.0% A				

【目標設定の考え方】 実績を踏まえ、拠点数（景観形成重要建造物等修景助成・古民家再生件数）実績毎年20件を目標に設定

1 景観形成支援事業（まちづくり）56,000千円

優れた景観の創造・保全を図るため、景観形成に資する建築物等の外観修景等に係る工事費を助成するほか、修景相談等を行う景観まちづくりアドバイザーの派遣、景観支障建築物等の解消に係る助成等を実施

○事業内容

- ・歴史的景観形成建築物等修景助成
- ・景観まちづくりアドバイザー派遣
- ・景観まちづくり活動助成
- ・景観支障建築物等除却・改修費助成 等

○対象者

- ・建築物所有者、住民団体 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
景観条例により指定された地区・ 地域における建築物等の外観修景 に係る支援等を行う景観形成支援 事業の実績件数	30件(H26)	30件 29件	30件	30件	30件	30件
達成率・評価		96.7% B				

【目標設定の考え方】 実績を踏まえ、支援実績毎年30件を目標に設定

2 古民家再生促進支援事業（古民家再生への支援）（まちづくり）20,414千円

優良な住宅ストックの活用、歴史的文化・まちなみ景観の継承を図るため、古民家の再生を支援

○事業内容

- ・建物調査

専門家を派遣して古民家を調査し、修繕・再生の可能性について助言

・古民家再生提案

建物調査を行った古民家のうち、特に再生を推奨するものについて、専門家を派遣して再生提案を実施

・改修工事費助成

再生提案した古民家のうち、地域活動や交流・宿泊体験施設及び店舗など地域の賑わいや地域活性化に資する施設改修に補助

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
古民家再生件数 (累計)	10件 (H26)	15件 12件	20件	25件	30件	35件
達成率・評価		80.0% C				

【目標設定の考え方】 実績を踏まえ、毎年度再生件数5件増を目指し、H28年度目標を20件に設定

【KPI未達成の理由等】 随伴補助を行う市町数が少ないため (H27: 9市町)。今後、対象市町の拡大に向け、新たな普及策を検討する

3 建築基準法の適用除外 (まちづくり)

歴史的価値を保存した状態で、古民家等を宿泊施設やレストラン等として活用するため、安全性を確保した上で建築基準法の適用から除外する建築物を指定

○対象建築物

- ・古民家、武家屋敷、庄屋等の歴史的建築物 (指定文化財を除く)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
建築基準法の適用から除外 する歴史的建築物の指定	—	基準検討 基準検討	運用開始	—	—	—
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】 早期の効果発現に向け、H28年度運用開始を目標に設定

4 (新)市街化調整区域における地区計画のガイドラインの作成による市町の計画的なまちづくり支援 (まちづくり)

市街化調整区域において、地域のイニシアティブ (主導) による地域活力の向上や産業の活性化を図るため、地区計画制度を活用した市町の計画的なまちづくりを支援

○対象市町 市街化調整区域を有する 26 市町

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市街化調整区域における 地域活力向上や産業の活 性化に資する地区計画制 度のがイドライン作成	—	がイドライン 作成	—	—	—	—
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】 H27年度にがイドライン作成

5 (新)既存工場の事業継続支援に係る開発許可制度の弾力的運用 (まちづくり)

既存工場が事業を継続するため市街化調整区域へ敷地拡大することを許可可能とする開発許可制度の弾力的な運用

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
開発許可制度の弾力的な運用	—	基準改正 基準改正	運用開始	—	—	—
達成率・評価		100.0% A		—	—	—

【目標設定の考え方】 早期の効果発現に向け、H28年度運用開始を目標に設定

基本目標 8-(1)④ ネットワークの強化による交流の促進

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
住んでいる地域の公共交通は便利だと思う人の割合	54.6% (H26年)	55.7%	56.8%	57.8%	58.9%	60%
達成率・評価		98.7% B				

【目標設定の考え方】 5年間で「便利だと思う人」の割合約5%増を目指し、H28年度目標を56.8%に設定

1 バスへの支援

(1) 生活交通バスへの支援（県土整備）408,260千円

生活交通バスの維持・確保に向け、路線バスの運行等を支援

○路線バスに対する支援（国庫協調補助）（126,475千円）

- ・複数市町にまたがり、1日の運行回数3回以上の路線バスの運行を支援
- ・主として上記対象系統の運行に供する車両の購入費用を補助

○路線バスに対する支援（県単補助）（281,785千円）

- ・複数市町にまたがり、1日の運行回数10回以下の路線バスの運行を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
乗合バスの輸送人員	24,069万人/年 (H25)	現状以上 24,273万人/年 (H26)	現状以上	現状以上	現状以上	現状以上
達成率・評価		100.8% A				

【目標設定の考え方】 便利で快適な公共交通の維持を目指し、毎年度現状以上に設定

(2) (新)交流人口増加に向けた生活交通バス活用事業（県土整備）5,000千円

交流人口の増加による生活交通バス（路線バス・コミバス）の維持・確保に向け、（公社）兵庫県バス協会が主体となって実施する社会実験に対して支援

○事業内容

- ・生活交通バスを活用したモデルルートや沿線観光資源等を発信するウェブサイトの立ち上げ
- ・生活交通バスで巡る観光キャンペーンの実施
- ・社会実験結果の調査分析 等

○全体事業費 10,000千円（うち県支援：全体企画、調査分析に要する経費）

2 鉄道への支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
鉄道の輸送人員	12.7億人/年 (H24)	現状以上 12.9億人/年 (H25)	現状以上	現状以上	現状以上	現状以上
達成率・評価		101.6% A				

【目標設定の考え方】 便利で快適な公共交通の維持を目指し、毎年度現状以上に設定

(1) (新)神戸電鉄粟生線の活性化に向けた支援（県土整備）5,000千円

神戸電鉄粟生線の活性化を目指し、利活用方策検討の一環として、神戸市、交通事業者及び地元と連携して実施する社会実験に対して支援

○事業主体 (仮称) 神戸複合産業団地交通環境改善協議会

※構成：県、神戸市、神戸電鉄、地域団体 6,459

○事業内容 木津駅から神戸複合産業団地への巡回路線バス運行 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
神戸電鉄粟生線の利用者数	6,561千人/年 (H26)	7,000千人/年 6,459千人/年	同左	同左	同左	同左
達成率・評価		92.3% B				

【目標設定の考え方】 神戸電鉄粟生線地域公共交通総合連携計画（H25～28年度）の目標値
H29年度以降の目標は、H28年度中に見直し予定

(2) 北神急行電鉄安定運行対策の支援（県土整備）135,000千円

北神急行の運賃を維持するため、集中的な老朽化対策を支援

○支援期間 5年間（H26～30年度）

○老朽化対策 変電設備の更新、車両制御器の更新

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
北神急行電鉄の利用者数	9,105千人/年 (H26)	現状以上 9,132千人/年	現状以上	現状以上	現状以上	現状以上
達成率・評価		100.3% A				

【目標設定の考え方】 北神急行電鉄安定運行を目指し、毎年度現状以上に設定

(3) 鉄道軌道安全輸送設備の整備推進（県土整備）124,958千円

安全輸送の確保を図るため、国の補助制度を活用した施設整備を支援

○神戸電鉄（107,686千円）

・事業内容 車両更新、落石等防護設備の整備 等

○北条鉄道（5,000千円）

・事業内容 枕木の交換、軌道道床の砕石化 等

○北近畿タンゴ鉄道（12,272千円）

・事業内容 レール交換、自動列車停止装置の整備 等

(4) 北近畿タンゴ鉄道の基盤管理への支援（県土整備）14,503千円

上下分離方式の導入により経営改善を行う北近畿タンゴ鉄道に対し、鉄道を維持するため、必要な基盤管理費について関係自治体と協調して支援

○支援期間 10年間（H27～36年度）

○支援内容 線路・電路など基盤管理に要する費用

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
北近畿タンゴ鉄道の利用者数	1,842千人/年 (H26)	1,874千人/年	1,905千人/年	1,937千人/年	1,968千人/年	2,000千人/年
達成率・評価		99.6% B				

【目標設定の考え方】北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画のH31年度目標2,000千人/年を目指し、H28年度目標を1,905千人/年に設定

基本目標8-(1)⑤地域特性を活かした都市計画の推進

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
都市計画区域マスタープランの改正	—	プラン改正 (全県6地域)	—	—	—	—
達成率・評価		100.0% A				

1 (新)都市計画区域マスタープランの改正（まちづくり）

安全・安心な都市空間の創出、地域のイニシアティブ（主導）による魅力的な都市づくり、持続可能な都市構造の形成に向けた都市づくりの推進を目指し、平成27年度に全県6地域（阪神・東播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路）の都市計画区域マスタープランを改正

2 (拡)密集市街地対策の推進（まちづくり）

密集市街地の解消を図るため、建築基準法等の緩和規定を活用して建替等を誘導する「兵庫県密集市街地整備マニュアル」（H27年度策定）をもとに、市町と連携して対策を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
防災再開発促進地区 (指定解除地区数)	22地区(H26) (5地区)	21地区 (6地区)	20地区 (7地区)	19地区 (8地区)	18地区 (9地区)	17地区 (10地区)
達成率・評価		116.7% A				

【目標設定の考え方】毎年1地区の密集市街地の解消を目指し、H28年度目標を20地区に設定

3 (拡)効果の高い地域貢献の取組を行う事業者に対する大規模集客施設の上限床面積の緩和（まちづくり）

地域の活力の維持を図るために、平成27年度に改定した広域土地利用プログラムに基づき、事業者が特に効果の高い地域貢献の取組を行う場合に、広域土地利用プログラムで定める大規模集客施設の上限床面積を緩和

(2) 地域の資源を活かした取組の推進

地域の活力を向上させるため、地域の核となる都市公園や地域に存する空き家等の未利用資産の有効活用を図る。

【主要事業の概要および個別 KPI】

基本目標 8-(2)① 都市公園の利用促進

(上段：目標、下段：実績)

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H37 年度 (目標達成年度)
県民一人当たり県立 都市公園の利用回数 ※1		2.03回/ 年	2.05回/ 年	2.07回/ 年	2.09回/ 年	2.10回/ 年	2.2回/年
	2.0回/年 (H25年度)	2.19回/ 年					
達成率・評価		107.9%					
		A					
その他公園の利用者 数※2 ふるさとの森公園(6)、但 馬牧場公園、三木山森林公 園、フワセンター		現状以上	現状以上	現状以上	現状以上	現状以上	
	1,188千人 (H26年度)	1,151 千人					
達成率・評価		96.9%					
		B					

【目標設定の考え方】※1: 県民一人当たり県立都市公園の利用回数を、概ね10年間(H37)で10%増の2.2回/年を目指し、H28年度目標を2.05回/年に設定

※2: 実績を踏まえ、毎年度の利用者数の目標を現状以上に設定

1 (新)観光拠点型公園の整備(まちづくり)

地域をリードする観光拠点化に向け整備を進めるほか、公園周辺のネットワークを図り、地域全体の交流人口の増進やインバウンドの拡大を目指し、伝統的製塩技術を受け継ぐ赤穂海浜公園の「塩の国」で生産される赤穂塩のブランド化等、県立都市公園の持つ地域資源の魅力を高める

※観光交流拠点型公園は、①赤穂海浜公園、②一庫公園、③淡路佐野運動公園、④三木総合防災公園、⑤明石公園、⑥舞子公園、⑦尼崎の森中央緑地の7公園。

○事業内容 製塩施設(枝条架)再生等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
地域資源を活かした観 光交流拠点型公園の年 間来園者数		612万人	612万人	618万人	627万人	636万人
	606万人 (H22~H26平均)	656万人				
達成率・評価		107.2%				
		A				

【目標設定の考え方】5年間で来園者5%増を目指し、H28年度目標を612万人に設定

2 (拡)都市公園における子育て支援機能の充実(まちづくり) 21,000千円

公園を核とした子育てしやすい地域づくりを目指し、森の中で幼児や子育てママが学び・遊び・交流できる機能を持つ子育て支援型公園を整備

○甲山森林公園における子育て交流機能付パークセンター整備、幼児専用プレイエリアの設置

○尼崎の森中央緑地における独自の環境学習の実施、親子体験イベントの実施等

○有馬富士公園における「あそびの王国」の活用や夢プログラムによる子育て支援の実施等

【基本目標8】まちの賑わいを創出する〔(2)地域の資源を活かした取組の推進〕

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者アンケート「満足」の割合	53% (H25)	53%	54%	56%	58%	60%
達成率・評価		109.4%				
		A				

【目標設定の考え方】 H31年度での「満足」の割合を基準年の5%以上増の60%を目指し、H28年度目標を54%に設定

基本目標8-(2)② 未利用資源等の有効活用

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
インスペクション（建物状況調査）を活用した中古住宅の流通件数（累計）	0件	100件	200件	300件	400件	500件
達成率・評価		28.0%				
		D				

【目標設定の考え方】 毎年度流通件数100件増を目指し、H28年度目標を200件に設定

【KPI 未達成の理由等】 中古住宅市場におけるインスペクションへの需要が高まっていないため、H28 については普及方針を見直して実施予定

1 インスペクション普及支援事業（まちづくり）3,600千円

安全・安心で良質な中古住宅の流通を促進するため、インスペクション（建物状況調査）を実施する団体に対する活動支援及び普及・啓発の実施

○事業主体 公的な民間団体

○事業内容

・インスペクションの実施（3,000千円）

・インスペクションの普及・啓発（600千円）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
インスペクションの実施に併せた既存住宅売買瑕疵保険加入件数(累計)	0件(H26)	12件	26件	42件	60件	80件
達成率・評価		33.3%				
		D				

【目標設定の考え方】 インスペクション実施件数のうち、既存住宅売買瑕疵保険に加入した割合を20%とすることを目指し、H28年度目標を26件（14%）に設定

【KPI 未達成の理由等】 中古住宅市場におけるインスペクションへの需要が高まっていないため、H28 については普及方針を見直して実施予定

2 安全・安心リフォームアドバイザー派遣（ひょうご住まいサポートセンター運営事業）

（まちづくり）1,782千円

既存住宅の状況や居住者ニーズに応じた適切なリフォーム等を実施するため、ひょうご住まいサポートセンターに登録している「安全・安心リフォームアドバイザー」を県民からの要請により現地に派遣し、アドバイスを行う

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
アドバイザー派遣件数(累計)	120件(H26)	135件	150件	165件	180件	195件
達成率・評価		105.2%				
		A				

【目標設定の考え方】 H31年度のアドバイザー派遣195件を目指し、H28年度目標を150件に設定

3 住宅改修事業の適正化に関する条例推進事業（住宅改修業者登録の促進）（まちづくり）459千円
 県民が安心して住宅リフォームができる環境を整備するため、「住宅改修事業の適正化に関する条例」に基づく住宅改修業者登録制度を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
住宅改修業者登録制度における登録業者数の維持	392業者(H27)	392業者 394業者	400業者	400業者	400業者	400業者
達成率・評価		100.5% A				

【目標設定の考え方】毎年度、実績を上回る登録業者数400業者の維持を目指す

4（拡）空き家活用支援事業（まちづくり）77,975千円

住宅ストックの有効活用や地域の活性化を促進するため、一戸建ての空き家を、住宅、事業所又は地域交流拠点として活用するための改修費等を助成（H28年度から都市部（市街化区域）も対象に拡大）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
空き家活用件数（累計）	32件(H26)	66件 71件	116件	166件	216件	260件
達成率・評価		107.6% A				

【目標設定の考え方】毎年度空き家活用件数50件増を目指し、H28年度目標を116件に設定

5（拡）県営住宅の空き家等の活用（まちづくり）

高齢者の居住の安心や子育て世帯を支える環境をつくるため、県営住宅の空き家等を活用

○小規模多機能型居宅介護事業所等の誘致

高齢者や事業者のニーズを見極めながら、小規模多機能型居宅介護事業所等を県営住宅への誘致を検討

○県営住宅の空き家や集会所を活用したキッズルーム等の整備検討

県営住宅の集会所や空き住戸を活用し、キッズルームや自習室の整備を支援して子育て相談に応じるなど、子育て世帯を支える環境づくりの実施

○県営住宅の児童遊園やグラウンドを使用する場合の支援策検討

園庭が狭小な保育所などが運動会等で県営住宅の児童遊園を使用することを許可することにより、保育環境の充実を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
空き家、集会所等活用件数（累計）	1件(H26)	1件	3件	5件	7件	10件
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】H31年度に活用件数10件を目指し、H28年度目標を3件に設定

6 不動産の有効活用（まちづくり）

不動産証券化手法等についての知見や人材を蓄積し、未利用不動産の有効活用による安心して暮らせる環境整備を図っていくため、広く事業者や行政等を対象としたセミナー等を開催（年1回程度）

○対象者 事業者、金融機関、県民、行政等

○内容 不動産証券化手法等活用セミナー等